

2024 年度 事業報告（各委員会活動報告）

1 総務委員会（委員長：藤原 毅）

- ①会長、副会長、各委員長、顧問で構成した総務委員会を毎月理事会の1週間前に招集(会議室及びオンライン会議)し、委員会等からの様々な提案事項を検討・審議し、その結果を理事会へ報告または上程した。また、各委員会間にまたがるような日本人会の運営上の課題や中長期の各種課題に対して議論を行い、必要に応じ継続的に審議するようにした。
- ②理事会議事録を作成し、理事会の検討事項・審議内容を正確に記録した。
- ③その他
 - ・2024 年 8 月：アジア域内事務局長会議報告
 - ・2024 年 12 月：事務局長の契約更新（2026 年 3 月迄）
 - ・2025 年 2 月：決裁基準の改定（物価上昇に合わせて基準変更）・掲示板ルールの改定（法人会員企業の掲示板利用を可能とした）JCKL の許認可・ライセンスについて一覧表の更新
 - ・2025 年 3 月：チャリティ活動委員会の発足及び婦人部（かとれあ会）の廃止を決議。日本人会の保険付保、非常時対応マニュアルの確認、

1-1 規約関係（担当：中林 透）

- ・決裁基準改定、掲示板ルール改定、会則 21 条婦人部会の廃止について検討

1-2 セカンドホーム関係（担当：柳井 教男）

- 特になし

2 企画広報委員会（委員長：中島 裕美）

- ・2024 年 8 月 3 日（土）：夏休み e スポーツ大会開催（参加者 9 名）
- ・2024 年 10 月 12 日（土）：第 6 回秋の味覚を楽しむ会の実施（参加者約 110 名）
- ・2024 年 12 月 14 日（土）：クリスマス会の実施、来場者約 1,100 名
- ・2025 年 3 月 24 日（月）：春休み e スポーツ大会開催（参加者 11 名）

2-1 会員関係（担当：松尾 義裕）

- 偶数月に開催している「新規入会者の集い」は、8 月を除き、5 回実施。
合計 237 名（103 世帯）の参加があった。

2-2 ニュースレター編集委員会（編集長：柳井 教男）

- ・毎月初旬にホームページへ掲載、E-mail にて会員へのお知らせを発信してきた。
- ・今年度の編集委員会は対面にて、2 か月に 1 回 ボランティア編集員によるニュースレター編集会議を招集し、毎号の特集内容、その時期にあったコンテンツを検討、編集方針を決定した。この決定内容に従い、編集委員による取材活動、原稿の作成を実施。また寄稿については原稿の作成依頼を関係機関・諸氏に行い、編集・校正作業を実施した。

3 財務委員会（委員長：奥田 元秀）

- ・定例理事会にて月次財務報告を行った。
- ・2024 年 4 月：AHAM Capital の口座開設を承認
- ・2025 年 3 月：期末処理として、雑益計上（RM143）を行った。2024 年度に処理すべき不良債権は無かった。
- ・2024 年度（2025 年 3 月 31 日終了）の決算は約 35 万 6 千リンギの現金収支プラス、減価償却

費計上後の税後損益はマイナス 17 万 9 千リングという結果であった。

4 クラブハウス委員会（委員長：平田 順久）

- ・2024 年 7 月：WIFI 設備の追加更新
- ・2024 年 8 月：図書室カーペット交換
- ・2024 年 12 月：会館東側斜面点検を行い、斜面の状態に問題は無いとの結果を確認

4-1 クラブハウス将来計画小委員会（委員長：平田 順久）

2024 年 6 月：2024 年 3 月 31 日終了事業年度の決算では、約 3 万 6 千リングの現金収支マイナスとなったことから、当小委員会で検討後、2024 年度の新会館建設積立は行わないことを理事会に提案、承認を得た。2024 年 6 月第 60 回年次総会で積立金見合いの定期預金残高が過年度の利息も含めて 378 万 7 千リングとなっていることについて報告を行った。

5 店舗委員会（委員長：大澤 理一郎）

- ・2025 年 1 月：帝京マレーシアから返却された 2 部屋のうち 1 部屋を朝日トラベルに追加賃貸。もう一部屋については、入居テナントを募集中。

6 文化活動委員会（委員長：松井 智嗣）

- ・2025 年 3 月末現在、部活動：15、同好会活動：30 合計：45 の部・同好会が活動。
新規発足・廃止ともに無し。
- ・イベント申請：4 件
- ・2024 年度日本語講座は、4 月スタートクラス 1 学期 3 クラス開講、2 学期 2 クラス開講
10 月スタートクラスは 1 学期・2 学期ともに 2 クラス開講、今後は 10 月を講座の開始時期としていく。
- ・料理教室 3 回、パティッククラス大人 3 回、子供 2 回実施
- ・2024 年 9 月：JFKL 日本映画祭への広報協力
- ・2024 年 10 月：マヤ大学「日本人家庭訪問実施」への協力
- ・2024 年 11 月：JFKL 日本語スキットコンテストへの協力（審査員派遣）

7 スポーツ活動委員会（委員長：柏原 貞俊）

- ・2025 年 3 月末現在、部活動：11 部、9 同好会、合計：20 部・同好会が活動。
新規発足・廃止ともに無し。
- ・イベント申請：5 件、JSKL 施設利用：2 件

8 学校委員会（委員長：森本 昌明）

1) 園児・児童・生徒数の推移

児童・生徒数は回復基調も、速度は軟調。園児数も、2023 年度前半の年少組一時閉鎖の影響が継続しており伸び悩む。

2023～2024 年度 園児・児童・生徒数の推移

年 月	幼稚部	小学部	中学部	合 計
2023 年 4 月	43	371	110	524
2024 年 3 月	56	373	106	535
2024 年 4 月	47	383	114	544
2025 年 3 月	51	406	115	572

2) 学校教育目標と教育の重点

今年度の学校教育目標は、従来と変わらず「たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性を備えた児童・生徒の育成」を掲げ、その実現に向けたビジョンとして、以下の2つの柱を中心に学校経営を進めた。

まず、「めざす学校像」として「入ってよかった、通わせてよかった、勤めてよかった JSKL」を掲げ、児童・生徒、保護者、教職員のすべてにとって誇りとなる学校づくりを推進した。

次に、「めざす子どもの姿」として、「元気で最後まで取り組める子」「誰にでもやさしくできる子」「夢を持って世界へはばたける子」の3つの目標を設定。これに基づき、日常の授業や学校行事、現地校との交流などを通じて、子どもたちの主体性や社会性、そして国際的な視野を育む教育活動を展開した。

3) 教育活動

在外教育施設として、子どもや保護者の期待に応える学校づくり、魅力ある学校づくりを目指し、昨年度は以下の5つの重点項目に取り組んだ。

1. ICT教育の充実

本年度はデバイス持参の考えを小学部中学年にも広げ、全学年においてクロムブックやiPadなどのICT機器を1人1台使用できる環境を整備した。これにより、ICTを活用した授業実践を通じて、情報活用能力や問題発見・解決能力といった、学習の基盤となる資質・能力の着実な育成を図っている。

2. 英語教育の充実

全学年においてローカル校との国際交流会を実施。日頃のEC（English Communication）授業で培った力を活かし、英語を用いた交流活動に取り組んだことで、英会話を中心とする実践的なコミュニケーション能力の向上につながった。

3. 国際交流学習の実施

多様な文化に触れ、国際的な視野を広げる機会として、ローカル校や他国の日本人学校との交流を継続的に実施した。特に本年は、10月に筑波大学附属坂戸高校との間で締結した教育連携協定に基づいて、同校が企画したオーストラリア・パースで海洋保護区調査に6名の本校生徒が参画し、本校だけではなし得ない貴重なフィールドワークを経験することが出来た。こうした交流は、子どもたちの多文化理解や国際感覚の育成に大きく貢献している。

4. 心の教育の充実

「ゆたかな心の育成」を目標に掲げ、道徳教育の充実に取り組んだ。学校全体の道徳教育の構想を見直し、すべての教育活動を通じて道徳性を養い、互いに学び合い、高め合う集団の形成を目指した継続的な指導を行った。

5. イマージョンスイミング（IS）の充実

英語環境の中で水泳を行うイマージョンスイミング（IS）では、楽しみながら自然に英語に親しむ体験を通して、身体活動と言語活動の充実を図った。

最後に、教職員にとって「勤めてよかった JSKL」の実現に向けては、教育課程の一部見直しや会議の精選、勤務時間の見直しなどを進めることで、教職員が本来の業務である子どもへの指導により多くの時間をかけられるよう、業務改善を推進した。

4) 2024年度（令和6年度）経営状況

児童生徒数の回復には時間を要すると想定し、授業料を改定して収入確保を図った。一方、幼稚園部は教育省からの校納金改定認可が間に合わず保育料が改定できなかったが、学校全体としては黒字で着地することが出来た。

①学校会計（小中学部）

- ・年間平均児童生徒数は予想から上振れ（510 名 前年比 106%）で着地。支出は電気代高騰をインバーターAC 導入で最小限に抑える等、収支改善に努めた。
- ・保守保全に関しては、維持資金負担金を 10%改定し、これを原資として年間を通じて積極的な老朽化対策工事を展開した。収入は概ね想定通りで着地、支出は春休み実施の大規模工事（校舎修繕、シロアリ対策、プール設備交換、PC 購入等）の請求が 4 月にずれ込んだこと等から予算消化に遅れが生じた。

②学校会計（幼稚部）

半年間の年少組閉鎖の影響を払拭できず、園児数は予想を下回った（49 名 前年比 99%）。支出は保育料改定が出来なかったことから赤字予算でスタートしたが、年度前半に想定外で教員 1 名が退職。年後半から他教員へ業務負担を招く一方で、教員 1 名分の固定費負担減等が支出を軽減した。

③新校舎会計

2021 年末より開始した校舎改修プロジェクトの工事が 2024 年初に完了、2025 年 3 月には契約に従って工事瑕疵発生に備えた留保金の支払いも完了し同プロジェクトの全てが終了した。

9 教育施設管理委員会（委員長：神林 義之）

- ・2024 年 12 月：帝京マレーシアとの基本契約（3 年）の改定と更新（家賃の値上げ、部屋の返却）
- ・帝京マレーシアとの覚書更新。（会館の使用に関する 1 年間の覚書）

10 福利厚生委員会（委員長：菅原 美奈子）

- ・はぐくみ会：10 回開催（計 107 名参加）
- ・出産準備教室：6 月、11 月、2 月の 3 回実施（計 20 名参加）
- ・オンライン無料健康相談室（バートよしみ先生）：11 回実施（1 月を除く月 1 回）2024 年度は、合計 26 名の相談を受けていただいた。
- ・2024 年 6 月：ヘルストーク（目黒外科医院齋藤委員）：良い肥満と悪い肥満（聴講者約 20 名）

11 日本人墓地維持管理委員会（委員長：藤井 純一）

当委員会の活動は当会の前身母体である幸徳会（戦前）並びに終戦後の混乱期に KL 日本人墓地を守り抜かれた先人の墓地及び慰霊堂（旧称吉隆寺）の維持・管理活動を引き継ぐものである。主な活動は年 2 回の慰霊祭の挙行、日本からの要人等の参拝受け入れ、クアラルンプール日本人学校の児童・生徒他による清掃等のボランティア活動の受け入れ等である。本年の活動の主なものは以下のとおり。

【本年の主な活動】

- ・2024 年 9 月 21 日：秋季慰霊祭：広島県呉市、浄土寺副住職、良輝和尚の先導により実施。
- ・2025 年 1 月：慰霊堂のブラインド交換（石破総理大臣訪問に合わせ）
- ・2025 年 3 月 2 日：春季慰霊祭：広島県呉市、浄土寺副住職、良輝和尚の先導により実施。

【日本からの墓地訪問受け入れ】

- ・2024 年 7 月：公明党山口代表、自民党渡海政調会長
- ・2024 年 8 月：参議院重要事項調査団、参議院 ODA 調査団
- ・2024 年 11 月：高村外務政務官、防衛省統幕学校所属自衛官一行
- ・2025 年 1 月：石破総理大臣
- ・2025 年 3 月：海上自衛隊第一練習隊所属自衛官一行

12 IT システム委員会（委員長：牧野 孝祐）

- ・特に無し

13 盆踊り実行委員会（2024）（委員長：中林 徹）

2024 年 7 月 20 日（土）19:00 より Kompleks Sukan Negara Shah Alam にて、第 48 回盆踊り大会を開催。来場者数推定 3 万人。大きな事故などなく成功裏に終了した。

新しい試みとして、イベント オーガナイザーを起用し、事前登録及び寄付システムを開発。6 月末より事前登録(11,524 人)と参加者への寄付の呼びかけを行った結果、420 件、RM5,932 の寄付が集まった。スタジアム使用料は、大使館のご協力で交渉していただき無償となった。また今回初めて観光省（MOTAC）の助成金を申請、RM5 万が入金された。

14 バザー実行委員会（2024）（委員長：荘司 憲一）

2024 年 11 月 3 日（日）10 時 30 分～15 時、第 52 回チャリティバザーを Eastin Hotel にて開催した。当日は来場者約 800 名（関係者ボランティア含む）今回初めて E チケット制を導入した。

バザー当日売上げ収益と皆様からの現金ご寄付から次年度の会計監査費と税務申告費の積立金等を除いて、約 RM95,000 を 5 ヶ所の福祉施設に寄付する提案を、JCKL 慈善基金に対し行った。

15 新年会実行委員会（2025）（委員長：浅井 隆裕）

2025 年 1 月 11 日（土）に第 30 回目となる新年会を日本人会会館にて開催した。

2,000 名を超える来場者が訪れ、新年を祝う各種イベントを観覧、参加頂いた。

今年はステージイベントとしてアクロバット・ライオンダンス、JSKL 園児及び部同好会の発表に加え、変面ショーを新たに実施。会館内ではお茶席を設けたほか、恒例の餅つき体験、かるた大会、ヨーヨー釣りなどお子様も楽しめるイベントを実施。

駐車場では飲食ブースを 12 ブース設置し、日本食を中心に提供した。

大きな事件、事故もなく無事に終了した。

16 海外安全関係（担当：廣沢 美佳）

マレーシア及び日本政府の発表、注意喚起や情報提供を行った。

17 婦人部（担当：細川 純治）

2024 年 4 月 29 日（第 51 回かとれあ会年次総会）～2025 年 4 月 28 日（第 52 回かとれあ会年次総会）、かとれあ会活動を以下の通り行った。

■ 地元への社会貢献 ■

定期的なボランティア支援活動。下記①と②の施設にてボランティア活動

① ブキナナス身障者施設（Asrama Cahaya Rumah Wanita Cacat, Jalan Bukit Nanas）

-9 月 KL 日本人会会館にてブキナナスボランティアバザー*開催。

*ブキナナス身障者施設入居者が製作した手芸品の代理販売会。

-11 月 第 52 回 KL 日本人会チャリティバザー2024 ブキナナスブース販売ボランティア。

-3 月 KL 日本人会会館にて、今年度 2 回目ブキナナスボランティアチャリティバザー*開催。

② PJ スパスティックセンター（Spastic Children Association of Selangor & W.P）

-2024 年 4 月～2025 年 3 月 施設にて音楽クラス介助ボランティア。

-11 月 第 52 回 KL 日本人会チャリティバザー2024 販売ボランティア

■ 慈善活動・行事関連 ■

①寄付先福祉施設との交流

-7 月～9 月 2023 年度寄付先福祉施設 12 施設を視察・訪問。

②チャリティバザー関連

-6 月～12 月バザー活動の一環として、バザーサポーターの皆さんと連携して活動。

-9月～11月チャリティバザー開催に向けて手芸品コーナー担当。

-11月3日(日) 第52回 KL 日本人会チャリティバザー2024 (Eastin Hotel)

チャリティバザー活動収益金(法人会員からの寄付金を含む): RM91,911.39

-2月12日(水)バザー収益金ドネーション贈呈式:5福祉施設に総額 RM95,000 を寄付。

③かとれあワークショップ関連

4回のワークショップ実施し、収入から必要経費を引いた RM2,763 を慈善基金へ寄付。

6月タマンツグ・ジャングルウォーキング・植林、7月スペイン料理、9月月餅及び発酵の力

■日本人会関係イベント■

1) 9月 秋の慰霊祭にお手伝い参加

2) 日本人会新規入会者集いにスピーカー参加(かとれあ会活動の紹介)

18 全マレーシア日本人会 (担当: 藤原 毅)

第45回目のマレーシア全日本人会連絡会が、2024年10月11日(金)ペナン日本人会会議室にて開催された。(今回はペナン日本人会が幹事)全マレーシア12か所の日本人会のうち、今回は6か所の代表が参加した。(東マレーシアからの参加は無かった)また、同時に大使館主催の第43回安全対策協議会が開催され、外務省海外安全ホームページから、感染危険情報等について、またマレーシアの安全情報が共有された。

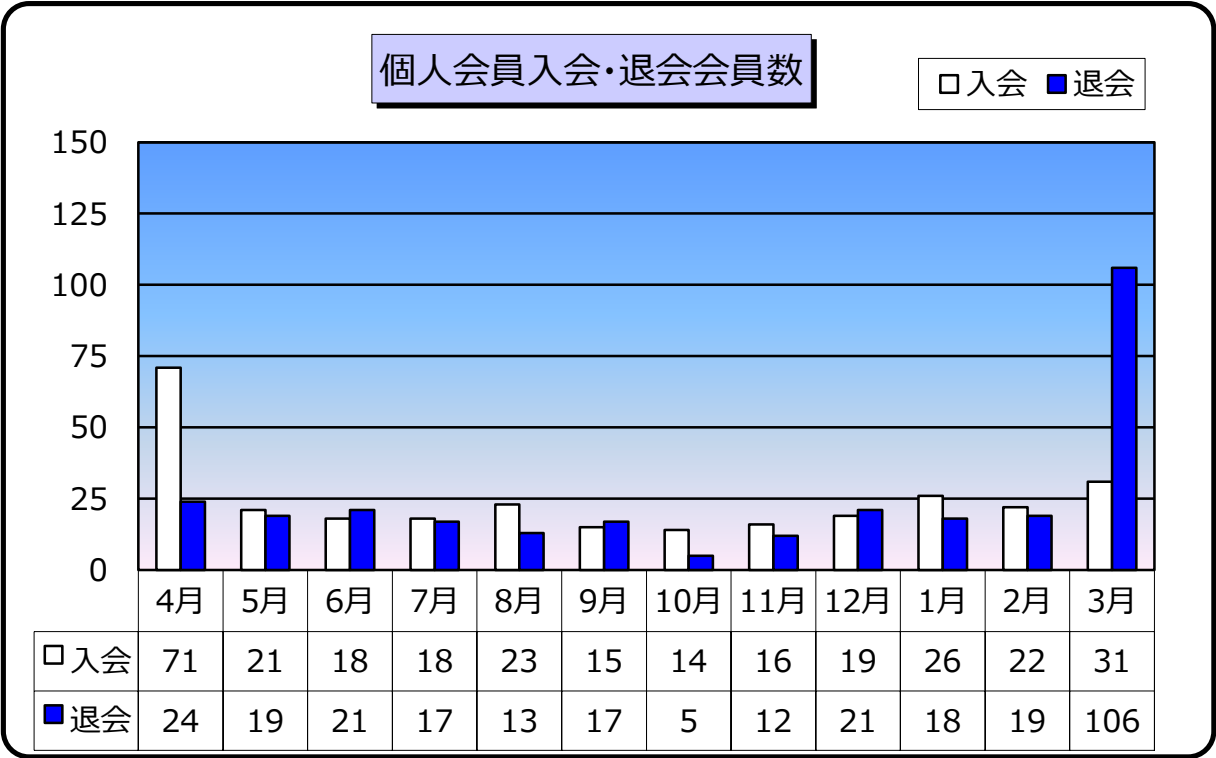
以上

K L日本人会会員数推移
2024 年度

(2024年4月～2025年3月)

	入会会員数				退会会員数				会員数					
	法人	個人	賛助	学生	法人	個人	賛助	学生	法人	個人	内 MM2H	賛助	学生	
									269	1244 2976	193 / 331	299 / 585	11	
4月	2	71	2	0	1	24	1	2	270	1291 / 3141	192 / 328	300 / 582	9	
5月	0	21	3	1	1	19	4	0	269	1293 / 3138	190 / 324	299 / 580	10	
6月	0	18	0	0	4	21	4	0	265	1290 / 3104	190 / 324	295 / 572	10	
7月	0	18	2	1	1	17	4	0	264	1291 / 3098	191 / 327	293 / 566	11	
8月	0	23	2	1	0	13	4	1	264	1301 / 3146	189 / 323	291 / 563	11	
9月	0	15	7	1	2	17	7	0	262	1299 / 3143	189 / 319	291 / 554	12	
10月	0	14	1	1	0	5	3	2	262	1308 / 3166	191 / 323	289 / 548	11	
11月	1	16	2	1	0	12	1	0	263	1312 / 3171	190 / 321	290 / 552	12	
12月	1	19	1	1	3	21	1	0	261	1310 / 3167	190 / 320	290 / 551	13	
1月	2	26	6	0	1	18	3	1	262	1318 / 3217	190 / 322	293 / 555	12	
2月	1	22	1	0	2	19	3	0	261	1321 / 3228	190 / 324	291 / 550	12	
3月	1	31	1	0	1	106	5	0	261	1246 / 2997	183 / 312	287 / 541	12	
合計	8	294	28	7	16	292	40	6	※ ※					

※ 会員数／総数(含家族会員数)



KL日本人会会員推移グラフ

(年/会員タイプ別)

